

事前評価日	平成24年6月1日	No.	1013 02
-------	-----------	-----	---------

基 本 事 項	事務事業名	鉄道新線対策事業		所管部署名	政策室 企画担当			
	事業期間	昭和59年度 ~ 未設定	事業年齢	28歳	事前評価責任者	中村 詠子	連絡先	048 - 982 - 9445
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会規約			
	事務事業の性質	毎年繰り返し		執行方法	補助・負担等 沿線自治体で構成する協議会に対して負担金を支出する。			
	基 本 の 計 画 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
		まちづくり目標	躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門)					
		施策	充実した公共交通網の整備					
		施策小項目	都市間交通の充実					
	第1期実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		歳出 予算 科目	事業名	鉄道新線対策事業		
	個別計画の 位置付け	計画名	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前年度の事務事業 有無・事務事業番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	101302	
目 的	対 象 (誰を、何を)	(直接の対象)国土交通省、埼玉県、千葉県、茨城県 (最終的な対象)全市民			手 段 (どのような事業 を行うのか)	国土交通省、埼玉県、千葉県及び茨城県に対して新たな鉄道の実現に向けた要望活動を関係自治体と共同で行う。		
	意 図 (対象にどのよ うな状態に なってい たいのか)	交通政策審議会(旧 運輸政策審議会)の答申に位置 付られた新たな鉄道について、目標年次までに建設が着 手される。将来的に鉄道が整備され市民の都心への移動 がしやすくなる。			事 務 事 業 を 取 巻 く 環 境 の 変 化 ・ 実 施 上 の 課 題	新たな鉄道の建設の前提となる沿線自治体の利用者 (人口)の増加が今後も継続することが重要となる。 また、鉄道の建設に当たっては、事業主体、費用負担の 課題を解決する必要がある。		
類 似 事 業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
業 務 プ ロ セ ス (No.・名 称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
事 業 関 連 ホ ー ム ペ ー ジ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							

区分	区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度			平成25年度	平成26年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	83	81	86	74	-7	5,076	76	
	② 人件費	167	247	248	165	-81	165	165	
		正職員直接投入人員	0.02人	0.03人	0.03人	0.02人	-0.01人	0.02人	0.02人
		正職員間接投入人員							
	③ 間接経費(加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	250	328	334	240	-88	5,241	241		
資 源	⑥ 国庫支出金								
		国補助率							
	⑦ 県支出金								
		県補助率							
	⑧ 市債								
⑨ その他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)									
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	250	328	334	240	-88	5,241	241	
D	補助・単分区分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input type="checkbox"/> 一部補助		<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独	

目 標 設 定 指 標	区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	総人口	人	66,868	67,780	68,560	69,430	70,480
		毎年4月1日の総人口		66,702	67,525	68,174		
活 動 指 標	①	鉄道新線の建設促進にかかる働きかけ	回	5	6	6	6	6
		地下鉄8号線の建設促進に係る要望活動及び会議への出席		6	6	7		
成 果 指 標	①	新線建設着手までの事業進捗率	%	20	20	20	20	20
		調査完了20%、事業体決定50%、事業認可75%、事業着工100%		0	0	0		
	②							

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	成果・効率性向上度のポジション			
		目標達成度	活動結果	① 鉄道新線の建設促進にかかる働きかけ		120.00%		100.00%	116.67%	効率性の維持と成果の改善が必要
			成果結果	増加することが良いとされる指標		★★★★★ 達成された		★★★★★ 達成された	★★★★★ 達成された	
		効率性	単位	トータルコスト × 1,000円	単位	平成23年度		平成24年度		
結果	① 鉄道新線の建設促進にかかる働きかけ		円/回	54,678	34,234	↑				
主		鉄道事業者に対する働きかけ ・幹事会(7月2日、3月28日)、定期総会(7月6日)、総決起大会(8月9日)に参加し、事業化に向けた活動に関する協議を行った。 ・千葉県知事要望(10月30日)、埼玉県知事要望(1月30日)、茨城県知事要望(2月15日)を実施した。 国から事業採算性の確保が求められており、建設等具体的な取り組みに踏み込んでいくため、平成25年度事業化検討調査の検討を行った。								

官民役割分担評価	公共性		実施主体の妥当性		行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	より多くの市民に提供されるが、日常生活に必要不可欠でないサービス 	政策的意思決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス 				

事業評価	区分	評価		評価判断理由(特記事項)		
		妥当性	役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	鉄道新線の事業化に当たっては、自治体の事業参画が必要となっており、その関与の必要性から妥当であると判断する。 新たな鉄道建設の実現には、多額の費用がかかり、国や県の支援が不可欠となる。このため、国及び県を対象に鉄道建設の実現に向けた支援等に対して要望することは妥当である。 鉄道の整備は広域にまたがることから、関係する自治体と連携をしながら取り組み、市民の交通利便の向上を図ることは妥当である。
		有効性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	
			意図		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	
効率性	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	現時点ではこの事務事業の主たる活動が要望活動であるため、大きな成果向上は望めない。 この事務事業は、上位施策である「鉄道輸送力・利便性の向上」を構成する主たる事務事業であることから、貢献度は高いと考える。			
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
		受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	この事務事業の事業費は、地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会負担金及び人件費のみであるが、平成24年度地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会負担金の見直しによる減額が行われたことから、コスト改善の余地はある。この事務事業は、関係行政機関に対する要望活動が主たる事務事業で、その受益は市民全体に及ぶものであることから、特定の受益者は存在しないため、受益者負担の適正化の余地はない。		

改革	これまでの改善(検討)状況と内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善実施済 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 改善未実施 今年度に地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会負担金の見直しが行われた。
改善	課題と今後の改善策	市民意識調査における「住み心地の悪さ」の理由として「鉄道の便」が43.6%で最も多い。また、JR武蔵野線が市内唯一の鉄道であることから、別の鉄軌道交通の実現に対する要望も潜在している。一方、鉄道の事業化は、多大な費用負担と期間を要することが課題であるうえ、現時点では地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会を通して事業化に向けた要望活動が主たる活動となり、改善策が見出しにくい。

事業(一次評価)	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 ↓ 拡大 ↓ 手段を改善(実施主体・手段の改善) ↓ 縮小 ↓ 効率化
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	

一次評価日	平成25年5月10日	一次評価責任者	中村 詠子
-------	------------	---------	-------

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 ↓ 拡大 ↓ 手段を改善(実施主体・手段の改善) ↓ 縮小 ↓ 効率化
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	
	説明	

二次評価日	平成25年6月26日
-------	------------